

令和4年度事業計画書



社会福祉法人
若草会

I 【はじめに】

(1) 法人の基本理念

一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護の実現

(2) 法人の「寄り添う」 ビジョン

1、信頼

高齢者や家族の気持ちに寄り添い、皆さまから愛され、信頼される事業所を目指します。

2、共感

高齢者のこれまでの人生に寄り添い（理解）、日常の暮らしの中で共感できる喜びを広げていきます。

3、尊厳

高齢者の尊厳に寄り添い（配慮）、快適な生活が築けるよう、思いやりの歩みを継続します。

(3) ホームページの更新について

理念の改訂に伴い、ホームページ上で法人の目指すべき目標を明確にします。また、ホームページを見やすく分かり易くすることで、年代性別問わず、様々な人から親しみを持ってもらえるような社会福祉法人を目指していきます。

(4) 背景と展望

蔓延する新型コロナウイルスの感染拡大とロシア・ウクライナ情勢の影響により、世界は常に不安定な状態に陥っています。社会福祉分野においても例外はなく、感染防止による面会禁止、食品・ガソリン等の物価の上昇により、私たちの生活の足元を揺るがす事態となっています。

令和3年度は、特養わたくさにおいて入居者1名にコロナ陽性者が出来ました。幸い、感染は拡がりませんでしたが、施設という閉じられた空間において、クラスターが発生するか否かは紙一重です。法人として事業継続を念頭においた施設運営を行っていかなければなりません。その為に、今年度はBCPの作成に着手していきます。BCPでは災害・感染症下において事業継続ができるための計画を立てます。

また不安定な時代だからこそ、今一度法人の原点に立ち戻り、若草会理念の浸透を図ります。そして、利用者・家族・職員が三位一体となった、寄り添う介護の実現を目指していきます。

BCP とは

BCP (Business Continuity Plan) とは事業継続計画という意味で、自然災害やテロ、感染症流行、システム障害などの緊急時に、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

(4) 事業

- ①第 1 種社会福祉事業-----地域密着型特別養護老人ホームわかくさ
地域密着型特別養護老人ホーム弥生の里
- ②第 2 種社会福祉事業-----短期入所生活介護わかくさ
短期入所生活介護弥生の里
通所介護弥生の里デイサービスセンター
- ④公益事業-----生きがい活動支援通所事業
特定高齢者通所型介護予防事業
- ③収益事業-----不動産賃貸業

II 【令和 4 年度の事業方針と重点的取り組み課題】

(1) 法人理念の理解による、寄り添う介護の実践

(2) 感染症や災害への対応力強化

- ①スタンダード・プリコーション（標準予防策）の理解と実践
- ②事業継続に係る、BCP 計画の作成
- ③感染症・災害を想定した研修・訓練の実施
- ④災害時の福祉避難所の開設

(3) 地域包括ケアシステムの推進

- ①職員全員が認知症への対応力向上に向けた認知症介護基礎研修の受講
- ②認知症介護実践者研修の受講による、介護リーダーの育成

(4) 自立支援・重度化防止の取組

- ①機能訓練・口腔・栄養の専門職が連携し、LIFE (CHASE、VISIT) を活用した科学的介護の実践

(5) 介護人材の確保、介護現場の革新

- ①処遇改善加算、特定処遇改善加算、処遇改善臨時特例交付金を活用

- した、介護職の賃金見直しの実行
 ②ハラスマント対策強化のための研修会の開催
 ③介護記録ソフト「ほのぼの」を活用した介護記録の効率化
 ④Google スプレッドシートを活用した、他施設との情報共有
 ⑤スマートフォン、タブレットを活用した動画マニュアルの作成

IV 【年間予定】

月	法人予定
4月	評議員会（監事変更）
5月	
6月	定期理事会 定期評議委員会
7月	
8月	
9月	
10月	定期理事会
11月	法人監査（福岡県庁）
12月	
1月	
2月	
3月	定期理事会

VI 【令和4年度役員】

理事長：古賀良子
 業務執行理事：末次輝
 常勤理事：田中圭子
 非常勤理事：大石昌彦
 非常勤理事：平松義博
 非常勤理事：林利彦
 非常勤理事：池末直子
 監事：山崎倫明
 監事：田崎創

VII 【令和4年度評議員】

評議員：稻吉義弘
 評議員：大石純夫
 評議員：木下雅之

評議員：熊谷智彦

評議員：眞田明子

評議員：吉田帰命

評議員：中村茂人

評議員：古川哲也

評議員：肥山淳一郎



久留米拠点

第（第1種社会福祉事業）

地域密着型特別養護老人ホームわかくさ

《地域密着型特別養護老人ホームわかくさ》

I 【運営目標】

- ① 感染・災害発生時にも必要なサービスが提供されるための、業務継続計画を作成し、いかなる状況からも早期復旧し入居者の生命保護に努める。
- ② 入居者とその家族の思いに寄り添い、最後まで安心して過ごして頂けるよう、家族と情報の共有を密に行っていく。またより良いケアのために、職員間でもお互いを尊重し、適切に意見交換ができるような環境設定を行う。
- ③ 個々の職員の資質向上と、専門性を活かし組織内での人材育成が計画的に実施できるよう、職員教育の体制を確立させる。
- ④ 医療・介護の関係機関や地域の支援者に積極的にアプローチを行い、待機者確保と入居率100%維持に努める。
- ⑤ 地域包括ケアシステムの一員として、また「社会福祉法人」として求められる地域貢献に向けて、コロナ禍で不安を感じながら地域に住む高齢者にも寄り添った事業を行う。

II 【サービス目標】

- ①生活の中の課題を明確にし、解決に向けてのサービス担当者会議等を実施し、入居者の方の、クオリティ・オブ・ライフと言われる「心身ともに健康で輝くような状態」(QOL: 略) の維持・向上を念頭に置き、人生の終焉まで入居者とその家族に寄り添う。
- ②入居者へ適切なケアを実践し、安心して過ごして頂けるよう、各委員会活動や職員研修等の年間計画を立て、介護スキルの向上に努めていく。
- ③ 運営推進会議や地域交流の機会を通して、「特養わかくさ」が入所施設というだけでなく、地域で暮らす高齢者やその家族が気軽に相談できる、身近な場所になれるよう、取り組んでいく。

III 【各種委員会】

- | | |
|--------------------|----------|
| ① 身体拘束委員会 | 1回／3ヶ月開催 |
| ② 事故防止委員会 | 毎月開催 |
| ③ 給食委員会 | 毎月開催 |
| ④ 感染委員会 | 1回／3ヶ月開催 |
| ⑤ 褥瘡委員会 | 毎月開催 |
| ⑥ 排泄委員会 | 毎月開催 |
| ⑦ 教育委員会（介護の質向上委員会） | 毎月開催 |

IV 【年間行事】

月	施設行事	研修・会議等
4	お花見	運営推進会議
5	節句	
6		運営推進会議
7	七夕まつり	
8	夏祭り	運営推進会議
9	敬老会	
10	観月会	運営推進会議
11	文化祭	
12	クリスマスコンサート	運営推進会議
1	新年行事	
2	節分行事	運営推進会議
3	ひな祭り	

※入所判定会議は適宜行うこととする。



小郡拠点

第（第1種社会福祉事業）

地域密着型特別養護老人弥生の里

（第2種社会福祉事業）

短期入所生活介護弥生の里

弥生の里デイサービスセンター

『地域密着型特別養護老人ホーム弥生の里』

I 【運営目標】

① 社会福祉法人若草会理念の浸透

職員に理念の理解を徹底し、人を育て、組織を成長させる上で不可欠であることを浸透させます。

② 利用者の生活の質の向上

利用者一人一人のニーズと意思を尊重し、観察力を怠らず可能性の実現と生活の質の向上に努めます。

③ 感染防止の継続的な実施

日頃から施設内の感染防止に努め、感染の危険性があるものを理解し実践します。

④ 入居率の維持

居宅介護支援事業者や医療機関等と関係性を高め、空室が出た時の速やかな入居案内と緊急時の受け入れなど、入居率の維持に努めます。

⑤ 介護・看護における質の向上

質向上委員を中心に、現場教育やオンラインを活用した研修を開催又は受講し、介護・看護の質向上に努めます。

⑥ 双方向性のコミュニケーションの実践

スムーズな意思疎通を図る為のコミュニケーションスキルを磨くことで、入居者、家族、他の職員よりよい人間関係を築きます。

⑦ 地域との連携

地域密着型事業所として、入居者と地域の交流を図る方法を検討し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう努めます。

II 【サービス目標】

① 利用者本位のサービス体系を確立し、利用者の満足度を上げる。

利用者本意の考え方方に立った顧客意識を持つ。

② 家族等面会の機会がもてる

感染防止期間中は、スマートフォン、タブレットを活用し入居者と家族との面会の機会がもてるよう工夫する。

③ 介護記録ソフト「ほのぼの」を活用し介護・看護業務の効率化を図る

「ほのぼの」の活用性を高め、入居者の体温・脈拍・血圧・呼吸等のバイタルサイン情報の自動入力、異常の早期発見・早期対応、医療機関との情報共有等、業務の効率化に活用していく。

④ 無駄な業務をなくして効率化を図る

施設内の「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5S活動を徹底し、清潔

な職場作りに努めます。また職員が一丸となり、どこが無駄なのか検証し業務改善に取り組みます。

⑤明るく楽しい施設作りに努める

季節感のあるレクレーションの企画を行い、入居者・職員が触れ合える機会を確保し、明るく楽しい施設作りに努める。

III 【各種委員会】

① 高齢者虐待及び身体拘束防止委員会	1回／2ヶ月開催
② 事故発生防止委員会	1回／2ヶ月開催
③ 給食委員会	1回／2ヶ月開催
④ 感染対策委員会	1回／2ヶ月開催
⑤ 褥瘡対策委員会	1回／2ヶ月開催
⑥ 質向上委員会	毎月開催

IV 【年間行事】

月	施設行事	研修・会議等
4	花見	弥生の里全体ミーティング
5	端午の節句	運営推進会議
6	父の日行事	弥生の里全体ミーティング
7	七夕まつり	運営推進会議
8	夏祭り	弥生の里全体ミーティング
9	敬老会	運営推進会議
10	観月会	弥生の里全体ミーティング
11	文化祭	運営推進会議
12	クリスマス会	弥生の里全体ミーティング
1	新年行事	運営推進会議
2	節分祭り	ユニットリーダー研修
3	ひな祭り	運営推進会議 今年度の事業の振り返り及び 来年度の事業計画報告会

※入所判定会議は適宜開催

※地域の皆様に地域交流スペースを開放いたします。

※慰問・ボランティアの受入をします。

※地域で行われる事業に積極的に参加します。

《ショートステイ弥生の里》

I 【運営目標】

①社会福祉法人若草会理念の浸透

職員に理念の理解を徹底し、人を育て、組織を成長させる上で不可欠であることを浸透させます。

② 利用者の生活の質の向上

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、観察力を怠らず可能性の実現と生活の質の向上に努めます。

③感染防止の継続的な実施

日頃から施設内の感染防止に努め、感染の危険性を理解し実践していく。

④ショートステイの安定した営業

居宅介護支援事業者との関係性を高め、速やかなショートステイの利用と緊急時の受け入れなど、利用者日々延べ人数3人を目指す。

⑤介護・看護における質の向上

質向上委員を中心に、現場教育やオンラインを活用した研修を開催又は受講し、介護・看護の質向上に努めます。

⑥双方向性のコミュニケーションの実践

スムーズな意思疎通を図る為のコミュニケーションスキルを磨くことで入居者、家族、他の職員とよりよい人間関係を築きます。

⑦住み慣れた地域で暮らし続けられる支援

ショートステイの利用で在宅生活が困難になっても、併設の地域密着型特別養護老人ホームと連携し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援を行う。

II 【サービス目標】

① 利用者本位のサービス体系を確立し、利用者の満足度を上げる。

利用者本位の考え方立った顧客意識を持つ。

② 家族等面会の機会がもてる

感染防止期間中はスマートフォン、タブレットを活用したり、地域交流ホールなどを活用し、入居者と家族・親族・知人等との面会の機会がもてるよう工夫する。

③ 介護記録ソフト「ほのぼの」を活用した介護・看護業務の効率化を図る

「ほのぼの」の活用性を高め、入居者の体温・脈拍・血圧・呼吸等のバイタルサイン情報の自動入力、異常の早期発見・早期対応、医療機関との情報共有等、業務の効率化に活用していく。

④ 無駄なものを無くし効率化を図る

「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5S活動を徹底し、清潔な職場作りに努めます。また職員一丸となりどこが無駄なのか検証し業務改善に取り組みます。

⑤明るく楽しい施設作りに努める

季節感のあるレクレーションの企画を行い、入居者・職員が触れ合える機会を確保し、明るく楽しい施設作りに努める。

III 【各種委員会】

①高齢者虐待及び身体拘束防止委員会	1回／2ヶ月開催
②事故発生防止委員会	1回／2ヶ月開催
③給食委員会	1回／2ヶ月開催
④感染対策委員会	1回／2ヶ月開催
⑤褥瘡対策委員会	1回／2ヶ月開催
⑥介護質向上委員会	毎月開催

IV 【年間行事】

月	施設行事	研修・会議等
4	花見	運営推進会議
5	端午の節句	
6		運営推進会議
7	七夕まつり	
8	夏祭り	運営推進会議
9	敬老会	
10	観月会	運営推進会議
11	文化祭	
12	クリスマス会	運営推進会議
1	新年行事	
2	節分祭り	運営推進会議
3	ひな祭り	1年間の振り返りと来年度目標運営推進会議

※地域の皆様に地域交流スペースを開放いたします。

※慰問・ボランティアの受入をします。

※地域で行われる事業に積極的に参加します。

《弥生の里デイサービスセンター》

I 【運営目標】

① 社会福祉法人若草会理念の浸透

職員に理念の理解を徹底し人を育て、組織を成長させる上で不可欠であることを浸透させます。

② 利用者の生活の質の向上

利用者一人一人のニーズと意思を尊重し、観察力を怠らず可能性の実現と生活に質の向上に努めます。

③ 感染防止を継続的な実施

日頃から施設内の感染防止に努め、感染の危険性を理解し実践していきます。

④ 1日利用者人数の増員確保（目標：15名～20名）

利用者が口腔・栄養・運動について学ぶ機会を設けていることなど、介護予防・自立支援につながる支援を行っていることの特色を居宅介護支援事業者や地域包括支援センターに周知し、目標達成を目指します。

⑤ 介護における質の向上。

職場での実践を通じて現場教育やオンラインを活用した研修を開催又は受講し、介護の質向上に努めます。

⑥ 双方方向性のコミュニケーションの実践

スムーズな意思疎通を図る為の、コミュニケーションスキルを磨くことで、利用者、家族、他の職員とのよりよい人間関係を築きます。

II 【サービス目標】

① 利用者本来のサービス体系を確立し、利用者の満足度を追求します。

② 利用者サービスの継続と評価の見直しを実施します。

③ 利用者やご家族、並びに地域の皆様の意見を介護サービスや施設経営に反映させます。

④ 明るく楽しい施設作りに努めます。

⑤ 医療ニーズへの対応ができるようチーム医療で取り組みます。

III 【各種委員会】

①高齢者虐待及び身体拘束防止委員会 1回／2ヶ月開催

②事故発生防止委員会 1回／2ヶ月開催

③給食委員会 1回／2ヶ月開催

④感染対策委員会 1回／2ヶ月開催

⑤褥瘡対策委員会 1回／2ヶ月開催

⑥介護質向上委員会

毎月開催

IV 【年間行事】

月	施設行事	研修・会議等
4	花見	弥生の里全体ミーティング
5	端午の節句	
6	花植え	弥生の里全体ミーティング
7	七夕まつり	
8	夏祭り	弥生の里全体ミーティング
9	敬老会	
10	観月会	弥生の里全体ミーティング
11	文化祭	
12	クリスマス会	弥生の里全体ミーティング
1	新年行事	
2	節分祭り	弥生の里全体ミーティング
3	ひな祭り	1年間の振り返りと来年度目標、弥生の里全体ミーティング

※慰問・ボランティアの受入をします。

※地域で行われる事業に積極的に参加します。